

事務連絡
令和5年8月21日

関係業界団体 各位

国土交通省海事局内航課

中・長距離フェリーのトラック輸送に係る積載率動向について
～船舶へのモーダルシフト推進にご活用ください～

国土交通行政の推進につきましては、日頃より格別の御協力をいただき、御礼申し上げます。

令和5年6月2日に、我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議が取りまとめた「物流革新に向けた政策パッケージ」において、「トラック長距離輸送から鉄道や船舶へのモーダルシフトを強力に推進し、最適なモードを活用したモーダルコンビネーションの展開を図るために、～（中略）～フェリー積載率についての定期的な調査・荷主企業等への情報提供を行い、利用可能な輸送力について周知することにより、鉄道や船舶の利用促進及び積載率の向上を図る」とされています。

これを受け、国土交通省海事局では、中・長距離フェリーのトラック輸送に係る積載率の動向を調査しました。この調査は、中・長距離フェリー航路について以下のとおり整理し、事業者へのアンケート調査により、対象期間中（今回は令和5年1～3月及び4～6月）のトラック輸送に係る積載率動向の概算値を算出したものであり、今後も随時調査を実施してその結果を公表してまいります。

- ・【中距離フェリー航路：片道の航路距離 100km 以上～300km 未満で、陸上輸送のバイパス的な役割を果たす航路】
- ・【長距離フェリー航路：片道の航路距離 300km 以上で、陸上輸送のバイパス的な役割を果たす航路】

貴団体におかれましては、モーダルシフトの更なる推進や、いわゆる「2024年問題」対策の一助として中・長距離フェリー等を活用した輸送について検討いただけるよう、事業者の皆様への周知にご協力をお願いいたします。

○参考：積載率70%未満であった航路

令和5年1～3月：阪神～北海道（上り下り）、阪神～北四国（上り下り）、北四国～北九州（上り下り）、京浜～北九州（上り下り）、阪神～中九州（下り）、阪神～南九州（上り下り）

令和5年4～6月：北陸～北海道（上り下り）、阪神～北海道（上り下り）、阪神～北四国（上り下り）、北四国～北九州（上り下り）、京浜～北九州（上り下り）、阪神～中九州（上り下り）

※実際には季節や曜日、ドック期間(定期整備)によっても変動があるため、あくまでご参考となります。

【添付資料】

中・長距離フェリーのトラック輸送に係る積載率動向について（令和5年1月～3月）

中・長距離フェリーのトラック輸送に係る積載率動向について（令和5年4月～6月）